

R6年度 第1回 コストマネジメント会議

**大阪モノレール延伸事業
(門真市駅～(仮称)瓜生堂駅)**

令和6年12月

■ 事業概要 (大阪モノレール延伸事業)

1. 事業概要

■ 区 間 : 門真市駅 ~ (仮称)瓜生堂駅

■ 延 長 : 約8.9km

■ 駅 数 : 5 駅

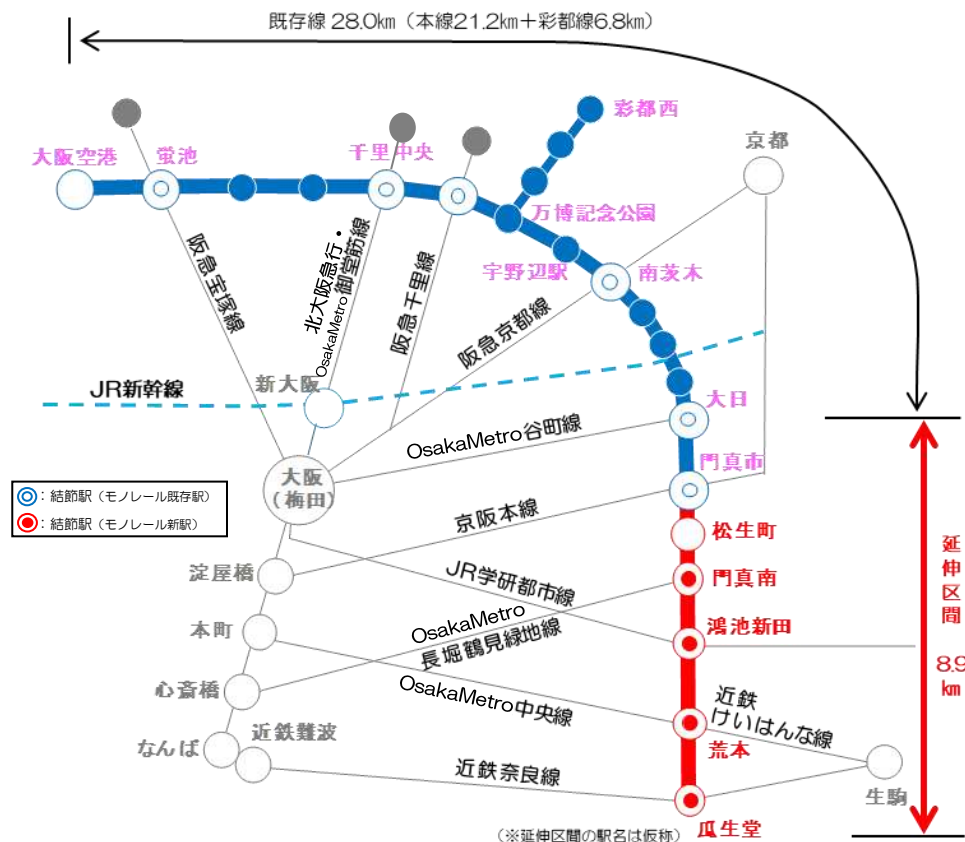
(松生町駅~門真南駅~鴻池新田駅~荒本駅~瓜生堂駅)
※いずれも仮称

■ 開業目標 : 令和15 (2033) 年度

■ 総事業費 : 約1,442億円

[国 : 約791億円 府・市 : 約651億円]

■ 事業主体 : 大阪府 (インフラ外部 : 大阪モノレール株)



2. 事業経過

平成28年度 建設事業評価 (事前評価) (事業実施の妥当性に関する審議)

令和2年度 都市計画法事業認可・軌道法工事施行認可後に現地着手

令和6年度 建設事業評価 (再評価) (※総事業費、開業目標の変更に関する審議)

参考HP : https://www.pref.osaka.lg.jp/o130020/jigyokanri/enjihyoukabukai_r6/index.html

事業進捗状況（大阪モノレール延伸事業）

【進捗状況】

支柱、駅、車両基地等の建設工事を実施中
 （詳細設計：約8割完了、支柱工事：約6割発注済）

【進捗率】

R5年度末 予算執行ベース進捗率 約16%（228億円／1,442億円）

門真市 松生町付近
支柱建設工事（施工中）



門真市 桑才新町付近
鋼軌道桁建設工事（完成）



大阪市 鶴見区茨田大宮付近
支柱建設工事（施工中）



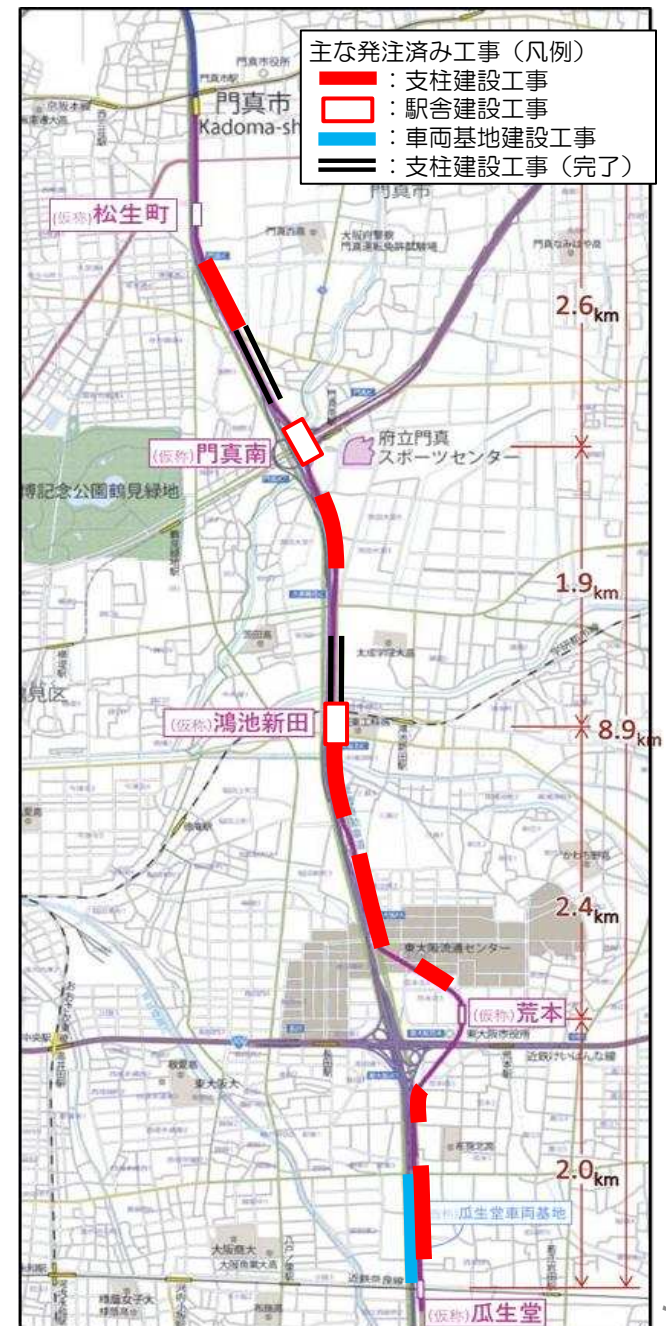
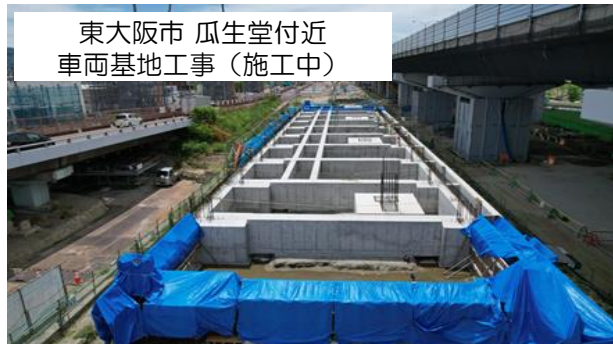
大阪市 鶴見区安田付近
支柱建設工事（完成）



東大阪市 西岩田付近
支柱建設工事（施工中）



東大阪市 瓜生堂付近
車両基地工事（施工中）



■ リスク一覧表（大阪モルール延伸事業）

事業費増額のリスク

大項目	項目	小項目	現状	リスク	影響度	発生確率	評価	リスクの早期把握に向けた対応
社会的影響	物価変動	資材・人件費	前回の建設事業再評価時に、R5までの物価上昇を含めて総事業費を精査済み。	今後も引き続き5年間物価が上昇する場合。	中	中	3	物価変動状況を確認し、総事業費への影響を把握する。
用地	土地価格等の変更	用地・補償費	現時点で残る用地補償費を含めて総事業費を精査済み。	地価上昇や物件調査結果で、残る用地補償費が増加する場合。	低	低	1	地価変動状況を注視するなど、リスクの早期把握に努める。
工事	地質・地盤	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌汚染 ・支持層の相違 ・地下水位 ・軟弱地盤など 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計に必要な土質調査を実施。 ・既発注工事で、掘削後に判明する土壌汚染や地下水等が発生した事例あり。 	既往の土質調査で把握しきれない地質・地盤の相違がある場合。	低	高	3	施工時に、既往調査内容と相違がないか常に確認し、リスクの早期把握に努める。
		地中障害物	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に地下埋設物等の台帳を確認し、協議を実施。 ・既発注工事で、埋設位置が台帳と異なる事例あり。 	想定外の地中残置物や障害物が、工事段階で判明する場合。	低	高	3	施工時に、既往調査内容と相違がないか常に確認し、リスクの早期把握に努める。
	関係機関協議	交通規制（通行止め等）	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に警察協議を実施。 ・地元周知の上、規制実施。 	工事段階で、交通規制を条件付けされる場合。	低	中	2	既発注工事でのノウハウ等を踏まえ、早期に詳細協議を行うことで、リスクの早期把握に努める。
		近接防護	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に関係機関（高速道路管理者、下水道管理者等）と協議を実施。 	工事段階で、防護対策を条件付けされる場合。	低	中	2	既発注工事でのノウハウ等を踏まえ、早期に詳細協議を行うことで、リスクの早期把握に努める。

■ リスク一覧表（大阪モノレール延伸事業）

事業期間の延長のリスク

項目	状況	リスク	リスクの早期把握に向けた対応
用地	用地買収に向けた交渉中。	想定以上に交渉が長期化する場合。	交渉状況を常に確認し、リスクの早期把握に努める。
関係 機関 協議	【地下埋設】 支柱位置変更に伴い、新たに地下埋設物の移設を要する箇所あり。	想定以上に地下埋設物事業者の移設工事が長引く場合。	各社とスケジュールを共有の上、移設完了時期を調整し、全体工程への影響の有無を早期に把握。
	【文化財調査】 必要な箇所・範囲で文化財調査を実施中。	文化財の出土状況により、調査期間が長引く場合。	調査状況を踏まえて、追加調査の必要性などを確認し、全体工程への影響の有無を早期に把握。
	【設計協議】 駅舎工事時の交通規制範囲等、施工方法について関係者協議中。	交通規制協議により、想定以上に施工ヤードが制限され、工期に影響する場合。	交通規制範囲等、施工方法について、早期の関係者協議に努める。
その他	【入札不調】 工事発注において、入札不調案件が発生。	今後の工事発注で、さらに多くの入札不調案件が発生する場合。	— (入札不調時の工程影響を最小限にするため発注手法の検討等を行う。)

■ リスク一覧表（大阪モノレール延伸事業）

■ リスクに対する総合評価

- **事業費増額のリスク**（発生確率及び影響度を考慮して、総事業費が3割以上増額となるリスク）
- ・ **個別リスク**
物価変動などの項目で潜在的なリスクはあるものの、総事業費へ影響を及ぼすリスクは顕在化していない。
- ・ **複合リスク**
総事業費へ影響を及ぼすリスクは顕在化していない。

- **事業期間の延長のリスク**
事業期間へ影響を及ぼすリスクは顕在化していない。

上記を踏まえ、引き続き、コスト縮減を図りながら、モニタリングを継続するとともに進捗管理を行う。

※本事業は、R6年度に、大阪府建設事業評価審議会の建設事業評価（再評価）にて、総事業費及び事業期間の変更について適切との判断をいただいたところであり、上記は審議会以降のリスクに対する評価。